

工業技術発表会 平成22年10月1日（金）延岡総合文化センター

○工業技術発表会には、開催地域の延岡工業高校と日向工業高校の1・2年生が参加し、熱心に発表を聴いていました。このような機会をできるだけ多くの工業高校生に与えたいものです。

○本校生の新竹君と遠目塚君の発表は、溶接関係の資格取得を分かりやすく説明したものでした。ものづくりの基本に、誠実に取り組んでいることがよく分かりました。残念ながら、入賞はしませんでした。今後も「ものづくり」＋「資格取得」に、本校は力を入れていきたいと改めて思いました。

○最優秀賞は日向工業高校、優秀賞は日南工業高校と都城工業高校でした。専門性を活かした地域密着型の地域活性化につながる発表、継続的な研究、環境とエネルギー関係の研究が、特に注目されたようです。本校の発表にもこのような視点も必要だと思います。

○発表会の研究内容が、参加した高校生の今後の参考になったと思います。また、工業高校生のプレゼンテーション能力が向上してきているようです。



会場一杯の高校生 聴く態度良好



本校生2人の発表の様子

○関氏の講演、シンポジウムより

- ・地域と高校が深くかかわってほしい。
- ・最近の日本は、ものづくりの基本の部分が弱くなってきている。強化する必要がある。
- ・今後の日本の産業の在り方は、加工・組立でなく、素材開発と消費・サービスの方向に向かって、生き残りをかけるべきである。（低価格では、中国にかなわない。）
- ・工、農、商などあらゆる産業が、今後、連携し合っていく必要がある。

○本校の総合制専門高校の取組が、未来を切り拓いていくのではという思いを強くする講演でした。（例）野菜工場：水耕での野菜づくり・・・工業の管理・コントロール技術を農業に活かし、農業を変えていく。

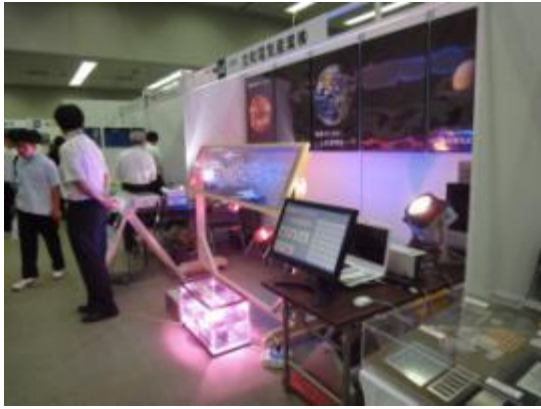
○今回の大会は、工業・商業の他の先生方にも参加してもらえばよかったと思える内容のものでした。



宮崎県の工業高校の展示もありました。



高校生が企業説明を熱心に聴いていました。



LED 関係の説明を聴きました。



展示会場を多くの高校生が見て回る。



関氏の講演



シンポジウム

○工業等の展示会場も興味深いものでした。高校生も説明を聞いて、勉強になったと思います。